

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2010-51755(P2010-51755A)

【公開日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2008-222897(P2008-222897)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月22日(2011.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の表示部にて回転表示される複数の図柄を遊技者による停止操作によって停止表示させる停止操作ゲームが行われるとともに、該停止操作ゲームにて前記複数の図柄が停止表示されたときの図柄組み合わせに基づいて遊技の進行にかかる制御が行われる遊技機であって、

前記複数の図柄が停止表示されたときの図柄組み合わせには、複数回の停止操作ゲームにわたって遊技者に有利な遊技制御が行われる目標ゲームの実行契機となる特別図柄組み合わせが含まれてあり、

所定の条件が満たされたとき、前記遊技者による停止操作によって停止表示可能とされている特別図柄組み合わせを示唆することによって前記目標ゲームの実行が促される高期待遊技状態に制御する有利状態制御手段を備え、

前記有利状態制御手段は、

前記停止表示可能とされている特別図柄組み合わせが示唆されたもとで前記停止操作ゲームが行われたにもかかわらず前記特別図柄組み合わせが停止表示されなかつたとき、当該停止操作ゲームが行われてからの所定の期間、前記特別図柄組み合わせが遊技者による停止操作の対象外とされて停止表示され得ないもとで前記停止操作ゲームが繰り返し行われるペナルティ状態に制御するペナルティ状態制御手段

を有することを特徴とする遊技機

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

所定の表示面にて演出表示を行う演出表示制御手段

をさらに備えることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記演出表示制御手段は、キャラクタ画像による演出表示を行う

請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

こうした目的を達成するため、請求項1に記載の発明では、所定の表示部にて回転表示される複数の図柄を遊技者による停止操作によって停止表示させる停止操作ゲームが行われるとともに、該停止操作ゲームにて前記複数の図柄が停止表示されたときの図柄組み合わせに基づいて遊技の進行にかかる制御が行われる遊技機であって、前記複数の図柄が停止表示されたときの図柄組み合わせには、複数回の停止操作ゲームにわたって遊技者に有利な遊技制御が行われる目標ゲームの実行契機となる特別図柄組み合わせが含まれてあり、所定の条件が満たされたとき、前記遊技者による停止操作によって停止表示可能とされている特別図柄組み合わせを示唆することによって前記目標ゲームの実行が促される高期待遊技状態に制御する有利状態制御手段を備え、前記停止表示可能とされている特別図柄組み合わせが示唆されたもとで前記停止操作ゲームが行われたにもかかわらず前記特別図柄組み合わせが停止表示されなかったとき、当該停止操作ゲームが行われてからの所定の期間、前記特別図柄組み合わせが遊技者による停止操作の対象外とされて停止表示され得ないもとで前記停止操作ゲームが繰り返し行われるペナルティ状態に制御するペナルティ状態制御手段を有することを要旨とする。